

諫早警察署協議会第3回会議議事概要

日 時	令和5年7月13日(木) 15時00分～17時00分
場 所	諫早警察署3階講堂
出 席 者	<p>1 協議会 岸本会長 田方委員 大石委員 大塚委員 衣川委員 木村委員 高島委員 田中委員 谷口委員 永井委員</p> <p>2 警察署 松本署長 吉田刑事生活安全官 柴尾警務課長 坂本生活安全課長 矢次地域課長 山口交通課長 永野警備課長</p> <p>3 書記 警務係長</p>
会 議 の 状 況	<p>1 前回会議での協議会の意見に対する実施状況について 警備課長から、前回協議会における提出意見である「梅雨時期における災害未然防止に関する事前対策の実施について」に対する実施状況について、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 署長以下8人で災害危険箇所3か所の現地実査を行い、危険箇所の詳細な現場確認や避難所、避難経路などの確認を行った。</p> <p>(2) 署員に対して、チェーンソーや発動発電機の習熟訓練を行い、若手警察官に対しては、実際に木材を切らせるなどの訓練を行った。</p> <p>(3) 諫早市防災会議、本明川水害タイムライン全体会議、長崎県中央振興局防災連絡会議にそれぞれ参加し、各関係機関と横のつながりの確認など密な連携を図った。</p> <p>(4) 諫早市災害危険箇所の現地調査を行い、現場の再確認を行った。</p> <p>(5) 諫早市総合防災訓練に参加し、建設業協会や歯科医師会らと共に、パトカーや装備資機材を活用した災害時の交通規制及び災害復旧作業車誘導訓練、多数死体取扱訓練を行って、災害発生時の各機関との役割分担を確認した。</p> <p>(6) 身近な避難所や避難経路の確認や災害発生時に向けた日頃からの備えなどについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者向けの老人会での講話 ○ 年金支給日における高齢者などへの広報チラシ配布活動 ○ 鎮西学院大学新生や外国人技能実習生向けに対する講話 ○ 交番や駐在所の地域警察官による巡回連絡 ○ 各種自治会などの会合への参加 <p>など、幅広い機会を捉えて、広報活動を行った。</p> <p>2 令和5年4月から6月までの業務重点推進結果について 刑事生活安全官及び担当課長から、次のとおり説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 刑法犯認知状況（令和5年6月末現在） ○ ニセ電話詐欺犯罪発生状況（令和5年6月末現在） ○ 交通事故の発生状況（令和5年6月末現在） <p>(1) ニセ電話詐欺被害防止対策の推進</p>

	<p>(2) 生活経済事犯取締りの推進 ア 犯行ツール対策の推進 イ 広報啓発活動の推進</p> <p>(3) 市民生活を脅かす身近な犯罪の検挙推進</p> <p>(4) ニセ電話詐欺事件の検挙推進</p> <p>(5) ニセ電話詐欺の実行を容易にする助長犯罪の検挙推進</p> <p>(6) 新入学児童等の交通事故防止に向けた重点的な取組の推進</p> <p>(7) 大規模自然災害等緊急事態への的確な対処</p> <p>(8) 各種イベント等への対応 ア 行楽地における雑踏警備 イ V・ファーレン長崎ホームゲーム開催に伴う警戒警備対策の推進</p> <p>3 業務重点推進計画（令和5年7月～9月）について 刑事生活安全官及び担当課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 夏休みにおける少年の非行防止、犯罪被害防止活動の強化</p> <p>(2) ニセ電話詐欺被害防止対策の推進</p> <p>(3) 市民生活を脅かす身近な犯罪の検挙推進</p> <p>(4) ニセ電話詐欺事件の検挙推進</p> <p>(5) ニセ電話詐欺の実行を容易にする助長犯罪の検挙推進</p> <p>(6) 各期交通安全運動の推進</p> <p>(7) 台風時期に備えた各種対策の推進</p> <p>(8) 各種イベント等への対応 ア V・ファーレン長崎ホームゲーム開催に伴う警戒警備対策の推進 イ 海水浴場開設に伴う警戒警備対策の推進 ウ 雑踏警備対策の推進</p> <p>4 速度取締りの指針（令和5年7月～12月） 交通課長から、次のとおり説明があった。</p> <p>(1) 諫早警察署の速度取締り重点</p> <p>(2) 諫早警察署管内における交通（人身）事故の実態</p> <p>(3) その他の交通指導取締り要点</p>
提出意見	<p>1 一人住まいの高齢者を対象とした事前の防災対策の実施について 大雨・台風時期を前にしていることから、一人住まいの高齢者を対象とした避難などに関する事前対策を実施してもらいたい。</p> <p>2 少年の非行・犯罪被害防止対策の推進・強化について 夏休み期間中であることから、行事・イベント等における少年の非行防止や犯罪被害防止について対策を推進・強化してもらいたい。</p>